#### 第12回黒部川土砂管理協議会

資料 - 2

# 関係団体の意見と対応

【平成13年度連携排砂・連携通砂の実施結果について】

関係団体名	関係団体の意見	対 応 状 況
海面漁業関係団体	・連携排砂、連携通砂でダムから流出した土砂量、海に流入した土砂量の把握 に努めてほしい。	・現地測量やシミュレーション等により検討しているが、今後も引き続き 現地データの収集についても検討し てまいりたい。
	・排砂と魚の生息への影響との因果関係について検討してほしい。	・専門家の指導の下で、魚の生息環境 の変化を把握するため、既往のベントス調査、プランクトン調査の成果 を整理中であり、その結果を踏まえ て魚類への影響について引き続き研 究してまいりたい。

### 【平成13年度連携排砂・連携通砂の実施結果について】

関係団体名	関係団体の意見	対 応 状 況
内水面漁業関係団体	・連携排砂、連携通砂でダムから流出した土砂量や、河川内の何処にどれぐらいの土砂が堆積しているかを、今後把握してほしい。	・シミュレーションや河川横断測量等 により検討しているが、今後はより 詳細に把握する調査方法についても 検討してまいりたい。
	・連携排砂、連携通砂で河口部に土砂が 堆積しており、通年、魚類の遡上に支 障のないよう、幅が広く、水深の深い 水路を人工的に開削するなど、対策を 行ってほしい。	・河口部水路開削に平成14年4月より着手しており、今後とも関係団体との調整を密に行いつつ、適切な河口処理に努めてまいりたい。
	・河川の水質や底質の調査地点を増やしてほしい。	・平成14年度より水質調査地点として受本地点を追加することとしている。

### 【平成13年度連携排砂・連携通砂の実施結果について】

関係団体名	関係団体の意見	対 応 状 況
農業関係団体	・排砂中でも出来るだけ水量の確保をお 願いしたい。	・排砂中の水量確保には物理的な限界があると考えられるが、できるだけ対応に努める所存であり、農業関係団体と引き続き検討してまいりたい。
	・農業用水の取水停止時間を短くしてほしい。	・取水停止時間をできるだけ短くする ためのダム運用について引き続き検 討し、適切に実施してまいりたい。
	・取水停止している期間の用水確保について、農業用水路の制水門の操作方法や代替水源の確保など、よりよい方法を検討してほしい。	・用水路網について総合的に精査した 上で、農業関係団体のご協力をいた だきながら引き続き検討してまいり たい。
	・農業用水路の調査については、継続し て実施してほしい。	・農業用水路の調査は継続して実施することとしている。

# 関係団体の意見

【連携排砂実施計画及び平成14年度連携排砂計画について】

関係団体名	関係団体の意見
海面漁業関係団体	(1)連携排砂には基本的に「絶対反対」であるが、漁場環境や漁業への影響が出 ない方策を講じて行われる連携排砂については、やむを得ない。 (2)連携排砂、連携通砂でダムから流出した土砂量、海に流出した土砂量の把握 に努めて欲しい。 (3)黒部川沿岸漁業の振興対策について、関係漁業者の要望に十分配慮すること
内水面漁業関係団体	<ul><li>(1)排砂後の放流量をなるべく多く、放流時間をなるべく長くしてほしい。</li><li>(2)連携排砂、連携通砂でダムから流出した土砂量や、河川内の何処にどれくらいの土砂が堆積しているかを、今後把握してほしい。</li><li>(3)連携排砂、連携通砂で河口部に土砂が堆積しており、通年、魚類の遡上に支障のないよう人工的に水路を開削するなど、対策を行ってほしい。</li></ul>
農業関係団体	(1)排砂中でもできるだけ水量の確保をお願いしたい。 農業用水の取水停止時間を短くしてほしい。 (2)取水停止している期間の用水確保について、農業用水路の制水門の操作方法 や代替水源の確保など、よりよい方法を検討してほしい。

### 【平成14年度環境調査計画について】

関係団体名	関係団体の意見
海面漁業関係団体	(1)排砂による土砂の河口付近での堆積状況を調査・把握してほしい。また、その結果を教えてほしい。 (2)排砂と魚の生息への影響との因果関係について検討してほしい。
内水面漁業関係団体	特になし
農業関係団体	(1)農業用水路の調査については、継続して実施してほしい。